

バスラ日誌（6月2日）

1 ここバスラに来てから4ヶ月半ほどが経過し、我々はベテランの部類に入りつつあり、挨拶をしてくれる人々も格段に増えていることは、以前のバスラ日誌で紹介のあった通りであるが、最近特に日本語で挨拶してくる人が増えているような気がする。さすがに正確性（夜なのに「オハヨウ」、朝イチで「コンニチハ」など）の面では、改善の余地はあるものの、やはり母国語である日本語で挨拶されるのはとてもうれしい。挨拶といえば、当初は思うように喋ることができず、よく言葉を詰まらせていたが、私も英語の挨拶（あくまで挨拶のみに限定）にも慣れ、こちらから「Good morning」と挨拶した後の「Good morning, how are you?」の連続攻撃に対しても、「Not bad, yourself?」と返せるようになったので、今度は彼らに日本語で挨拶してもらおうと、現在J9において「日本語挨拶普及作戦」を実施しているところである。「日本語挨拶普及作戦」の内容を紹介すると、朝は「Good morning」の後に、必ず「おはよう」といい、英語及び日本語をセットにして挨拶するとともに、相手にも復唱を要求、日本語での挨拶を強要している。また、J9の入り口通路の壁に貼られているホワイトボードに、「Today's Japanese Words」というコーナーを（勝手に）設け、簡単な挨拶の言葉を英語と日本語で併記して2〜3フレーズ書き、ホワイトボードを見た人が日本語に興味を持つように仕向けている。現在のところ、まだまだ相手からの主導的日本語挨拶（変な日本語だ）は不十分であるが、「こんにちは」と挨拶すれば、概ね「コンニチワ」と返ってくるレベルにはなっている。これからは執拗に日本語で挨拶し、我々が帰る頃には、相手側から主導的に日本語で挨拶してもらえるよう努力していこうと思う。

2 日本でもコーヒーなどを飲む時、側にいる人に「コーヒー飲む？」と話しかけることはあるが、イギリス人はその程度ではない。部屋の中にいる全員に何か飲むかを聞いて回る。今まで最大で8人分位をいっぺんに作っているのを見たことがある。しかも、作ったり、配ったりする作業をするのは、基本的に作ると言い出した人だけ。作ってもらう人は自分の席に座って書類を読んだり、パソコン作業をしている。作った人は、それぞれの要求（ブラック、ホワイト、砂糖ありなし、紅茶は更に種類有り）に応じたコーヒーなり、紅茶なりを作って、みんなに配る。勿論、お礼は言うが、気まずそうな雰囲気はない。日本人の私は、思わず自分の分を取りに行ってしまうが、みんなお喋りなしである。イギリスではそれが普通なのだろう。大抵自分が何か飲もうとする時、みんなに声をかけている。私も「舞に入っては、舞に従え」で、コーヒー・紅茶を飲む時は、みんなに声をかけ、みんなの分を作り、配っている。

3 本日快晴。バスラ4名、極めて健康。



スミッティLO日々業務報告(6月2日)

区分	内容
1 警戒態勢等	変化なし Threat Level
2 特記事項	(1) サマーワ宿営地・キャンパスミッティに対するIDF脅威及びサマーワ市内で発生した爆発音事案に関し重点的に情報収集を実施 (2) TFMCO・AMTG3CO・英豪POLADがサマーワ宿営地を訪問、群長・業支隊長・政策アドバイザー等と会談を実施 (3) 本日(2日)1700
3 本日の業務	(1) 情報要求対応等 サマーワ宿営地及びキャンパスミッティに対するIDF脅威情報、サマーワ市内で発生した爆発音事案関連情報、QDGによるOP CHEPSTOW関連情報、スミッティにおけるLECの雇用(給与)状況、サマーワ市内等の治安情勢、デモ関連情報、英豪軍の情勢判断等 (2) 各種業務調整等 TFMCO等キャンパスサマーワ訪問関連(本日)、業支隊長等キャンパスミッティ訪問関連(7日)、明日以降の豪軍支援要請関連、QDG Administration Office関連、サマーワ宿営地ジェネレーター整備関連、Y新聞記者取材関連等 (3) 各種ミーティング等 英豪軍作戦会議参加
4 明日の予定	(1) 情報要求対応等 (2) 各種業務調整等 (3) 各種ミーティング等
5 その他(備考)	明日の射撃訓練 なし